



古代日本の  
「西の都」  
-東アジアとの交流拠点-

# 太宰府市

世界とつながる国際都市『西の都』の中核

東アジアに近く、以前から国際交流が盛んであった筑紫の地に、唐の都・長安を参考にして造られた大宰府は、九州の政治の中心として、また日本の外交拠点として発展しました。外国使節を迎えるために位の高い人々が役人として赴任し、多彩な交流が繰り広げられたことで、様々な文化も生まれました。

